

# 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで 診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 発症時点におけるサルコペニアが発症4週時・8週時のADL能力に与える影響

## 研究の目的

高齢者や脳卒中患者は栄養状態不良、活動量低下、併存疾患の影響でサルコペニアを発症すると報告されています。脳卒中者におけるサルコペニアは歩行自立の可否や退院先の転帰に影響を与えるため、脳卒中後のサルコペニアに関する病態を明らかにし、対策を講じる必要があります。しかし、脳卒中発症時の筋肉量低下がADL能力へ与える影響に関する報告は我々の調査した限りでは存在しません。そこで、発症時点における筋肉量低下が発症4週時・8週時のADL能力に与える影響を調査することを目的としました。

**研究実施期間：** 令和5年4月3日 ～ 令和6年2月29日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 脳卒中による当院入院患者のうち、令和2年9月～令和4年9月の期間で、発症から3日以内のIN BODYデータを測定できた者を対象とします。ただし、病前のmRSが5以上の者、下肢の麻痺が重度(Br.stage II以下)の者、電子カルテのデータを研究に使用することへの同意を得られなかった者は除外しました。

## 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、当院リハ部門で継続的に評価している総合リハビリテーション評価とInbodyのデータを用い後方視的に調査します。発症3日以内の時点におけるサルコペニアの有無を確認するため、発症3日以内の時点における骨格筋指数(Skeletal Muscle Index: 以下 SMI)を測定します。その後、発症4週時点、8週時点のFIM総得点、運動FIM、認知FIMの他に移乗・排泄・移動の得点をカルテより収集し、両群間の差を比較検討します。それ以外に、当院のカルテより、基礎情報として年齢、性別、身長、体重(IN BODYに登録した数値を採用)、脳卒中の分類(出血・梗塞)を収集します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん又はその代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

<b>本件連絡先</b>	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 阿部愛 連絡先電話番号：0172-28-8220
--------------	---